

集会アピール

福島原発事故による放射能汚染の恐怖、ふるさとを追われて避難生活を送る住民の悔しさを我こととし、“原発なくせ”の声は全国に広がっています。

福島原発事故の真相はまだ全く未解明です。原発の安全対策を先送りし、再稼働ありきの対応をすすめる政府、電力会社に、国民の怒りは増大しています。

政府や関西電力の「原発なければ電力不足」の脅しも、この夏、原発の稼働なしでも電力は十分足りることが実証されました。

原発は、いったん苛酷事故を起こせば制御できない大事故となります。

使用済み核燃料は最終処理方法がありません。危険な放射性廃棄物を何万年、何十万年も、子どもや孫たちに管理させることは、絶対許されません。

私たちは、次のことを要求します。

1. 関西電力の大飯原発3・4号機の再稼働容認を撤回し即時停止すること。また、現在停止中の原発は、いっさい再稼働せず、廃炉にすること。
2. 脱原発・自然エネルギー推進を決断し、原発からの即時撤退と自然エネルギーへの政策転換を強力に推し進めること。

府民のみなさん

国民・府民の声は、「今すぐ原発ゼロの決断を」「自然エネルギーの推進を」です。

その声をさらに大きくするために、毎週金曜日の関西電力本社や支社・営業所への抗議行動、地域での集会やご近所パレード、自然エネルギーの学習会や見学会など、様々な取り組みをすすめましょう。

思想や信条の違いを乗り越え、全国の仲間と連帯し、脱原発・自然エネルギーへの転換をめざし、今こそ行動しましょう。

子どもたちに“負の遺産”を残さないために！

2012年10月7日

原発ゼロの会・大阪「発足1周年の集い」参加者一同